

第1回

10年後の松風台の住環境についてワークショップ

日時: 平成 30 年 12 月 9 日(日)

13:30~16:00

場所: 松風台自治会館 集会室

《 はじめに 》

13:30 ~ 13:35

・あいさつ:松風台自治会 会長 茂木 信男

13:35 ~ 13:40

・開催趣旨について

説 明: 茅ヶ崎市都市部都市政策課

《 情報提供 》

13:40 ~ 14:00

・基調講演

説 明: 東海大学 工学部 建築学科 教授 加藤 仁美

《 情報提供 》

14:00 ~ 14:15

・松風台の市街地状況

説 明: 茅ヶ崎市 都市部 都市政策課

《 情報提供 》

14:15 ~ 14:30

・地域での取組事例及び課題

説 明: 松風台自治会 まちづくり運営委員会
事務局長 小山 博美

～休憩(10分)～

《グループワーク》

14:40 ~ 15:30

・グループワークの進め方

説 明: 茅ヶ崎市 都市部 都市政策課

・グループワーク ～松風台の地域資源(良いところ)や
住み続けていく上での課題を話し合おう!～

《 発表 & 講評 》

15:30 ~ 15:55

・発表(5分×4グループ)

《 その他 》

15:55 ~

・次回予告

開催趣旨について

- 本市では、「超高齢社会への対応」「昭和40年代の住宅開発地などの地域の活性化」等、住まいに係る課題があります。
- 今後ますます高齢化が進む中で、地域に住む多世代の方々が協力しながら、安心して住み続けられる環境をつくっていくことが必要となります。
- 2014年に策定した「茅ヶ崎市住まいづくりアクションプラン」では、高齢社会での「住まい」のモデル事業として、高齢者が地域で住み続けられることができるための取組を、モデル地域で先行的に実施し、全市域への展開を図ることとしています。



本ワークショップをとおして松風台では・・・

行政では・・・

- ✓ 次世代に美しい街並みと住みよい環境を維持・継承していくためにはどうしたら良いのかを再検討
- ✓ 取組の実践に向けた一歩とする



- ✓ 市内でも先進的な取組を実施している松風台をモデル地域とし、課題の共有とともに、課題解決策を一緒に検討
- ✓ 全市へ検討したアイデアを展開

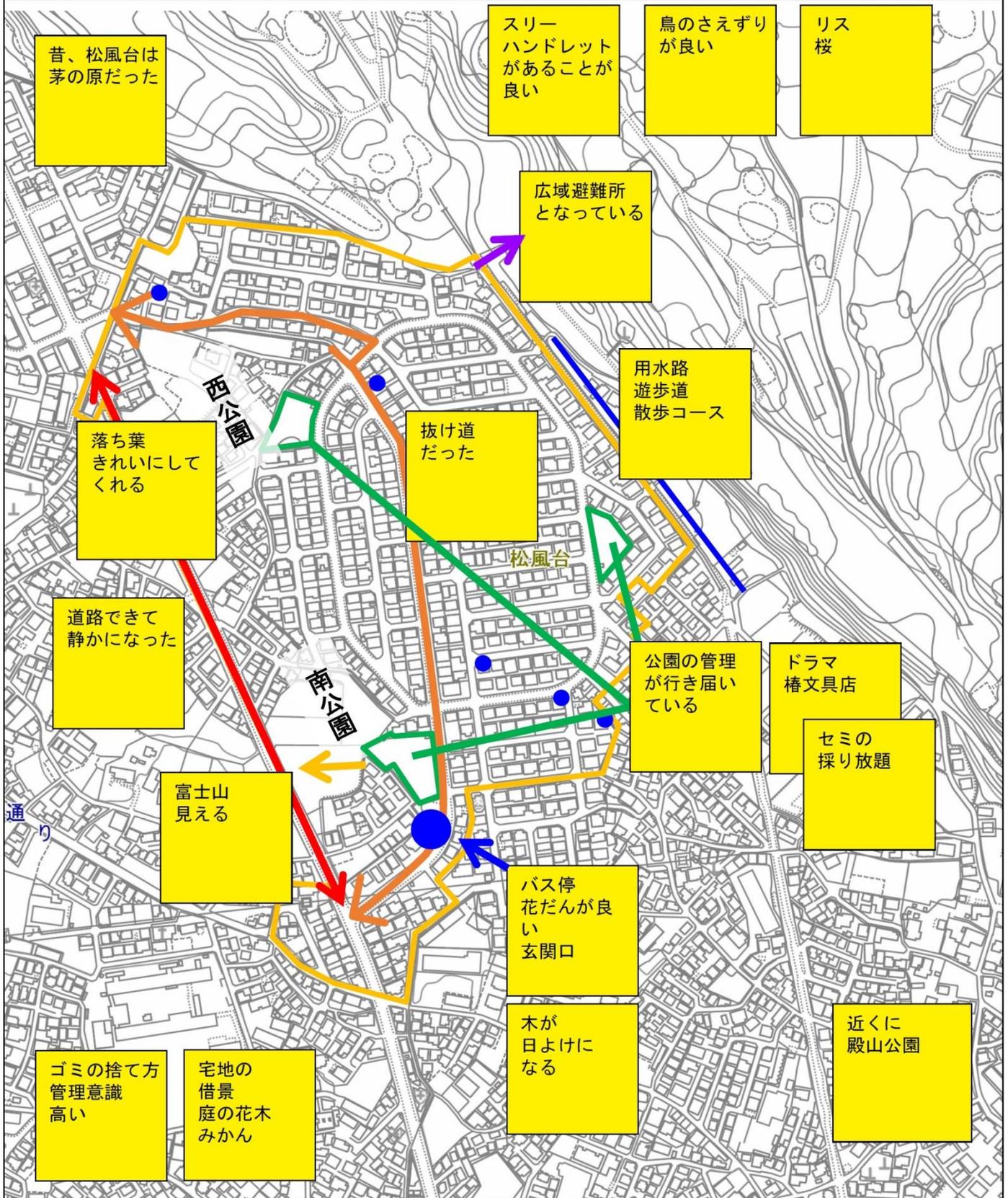
ワークショップの進め方

回数	日付	時間	概要
第1回	2018年 (平成30年) 12月9日(日)	13:30～ 16:00 (150分)	①開催趣旨 ～茅ヶ崎市 都市部 都市政策課～ ②基調講演 ～東海大学 加藤教授～ ③松風台の市街地状況 ～茅ヶ崎市 都市部 都市政策課～ ④地域での取組事例及び課題 ～松風台自治会 まちづくり運営委員会～ ⑤グループワーク ～松風台の地域資源（良いところ）や 住み続けていく上での課題を話し合おう！～ ⑥グループワーク結果の発表
第2回	2019年 (平成31年) 2月23日(土)	13:30～ ※終了時間 調整中	⑥まちを歩いてみよう！ ⑦グループワーク ～（仮）松風台が魅力あるまちで あり続けるためにどのようなことが必要か？～ ⑧グループワーク結果の発表



グループ名 **1班**

メンバー



第1回 10年後の松風台の住環境についてワークショップ

2018.12.9

グループ名 **2班**

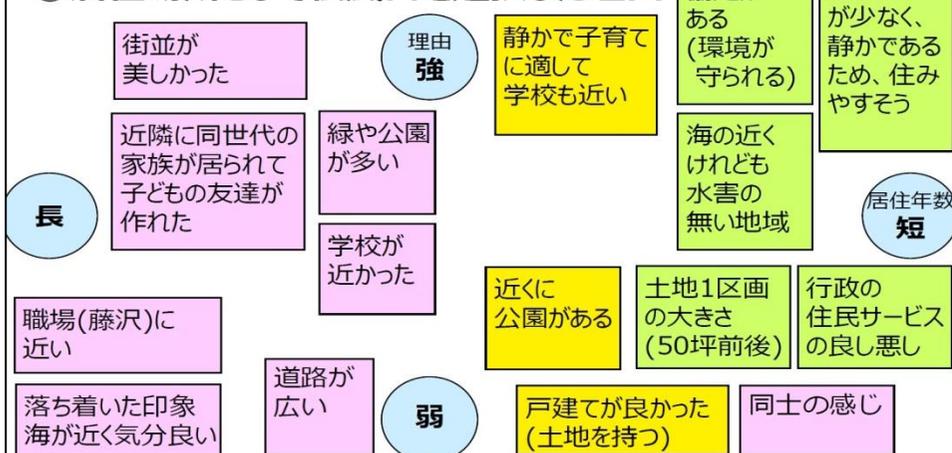
メンバー

居住
40年位

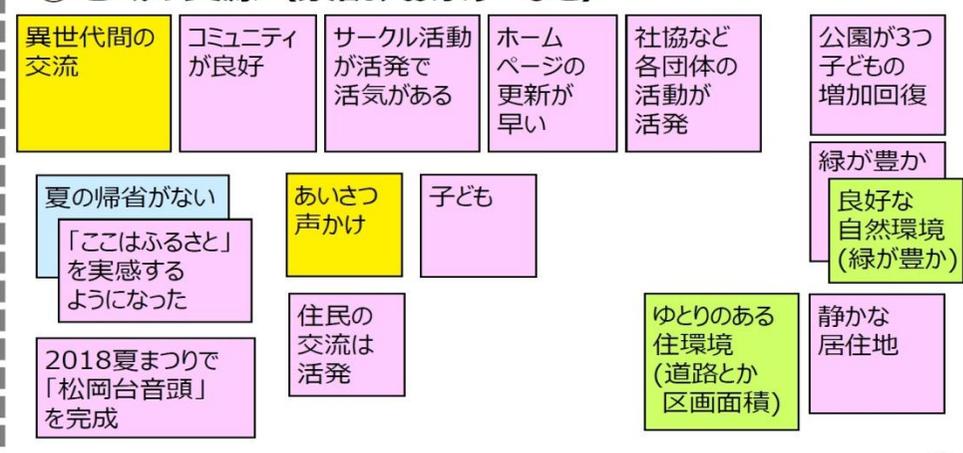
居住
11~30年

居住
10年以内

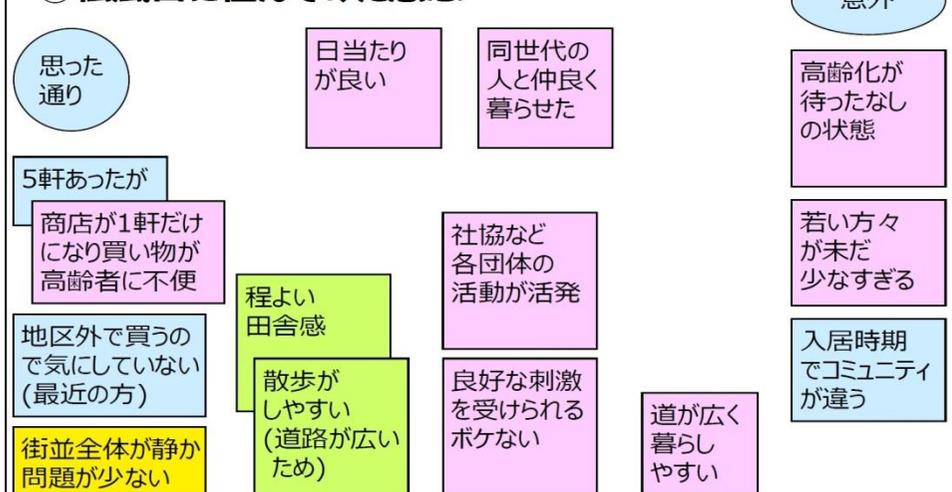
① 居住場所として松風台を選択した理由



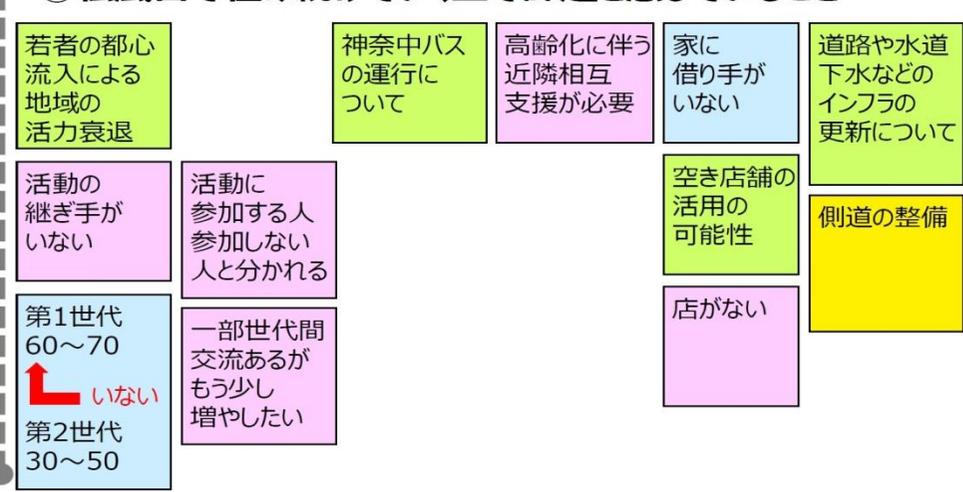
③ 地域の資源 (景観、お祭り など)



② 松風台に住んでみた感想



④ 松風台で住み続けていく上で課題と感じていること



第1回 10年後の松風台の住環境についてワークショップ

2018.12.9

グループ名 **3班** 40年 11~15年 6年 外 メンバー

① 居住場所として松風台を選択した理由

- 土地の広さが丁度良い (ゆったりしている手入れに困るほどではない)
- 街がゆったりしている (各住戸の土地が広め)
- 転勤が多かったので中学生になった娘に落ち着いた生活をさせたかった
- バス停が近い (始発なので座って行ける)
- 公園が整備されている
- 緑が多い
- 道路が広い
- 道路が広い (茅ヶ崎では珍しい)
- いずれ一人暮らしの母と一緒に住みたくて
- 海が近い (子どもと一緒に)
- 坂がない (茅ヶ崎が)
- 自転車が乗れる
- 道路が広く運転しやすい
- 東急の建物は信頼できると考えた

③ 地域の資源 (景観、お祭り など)

- 6年 ウォーキング
- 40年 陶芸教室
- 11年 バイク
- インターシップ 茅ヶ崎市 バイク
- 15年目 ランナー 水泳
- 地域密着型のイベントが多い
- 人とのつながり
- 住民がお互い様の意識を持っていること
- 自治会の加入率 97%あり 必要に応じてそこで鍛えられてきた
- 日当たり
- 景観
- コミュニケーション
- 道路で子どもが遊べて安心

② 松風台に住んでみた感想

- 静かである (暴走族・その他の外部の人があまり来ない)
- 住んでいる人の意識が高いと感じた
- マナーが良い
- 自治意識がしっかりしている
- 道が広い!
- 道路が広い
- 子どもの声がかえりやすくなった
- 子どもを育てやすい
- おだやか
- ゆとりがある
- 朝、雨戸を開けた時、メジロ・シジュウカラを目にし、幸せだった
- 庭にお花を植えて嬉しかった
- 同じような景色が続いている
- バスが定刻に来て便利
- 香川駅まで歩ける

④ 松風台で住み続けていく上で課題と感じていること

- 若い人を入り込ませる!
- 若返りどうやる?
- 祭りなどをきっかけとして
- 高齢化により若い人への継続
- 高齢化
- 若い人を含める
- ハードルの低いイベント
- 自治の担い手が減少しそう
- 景観(緑)の残し方
- 景観の維持
- 空き家
- 人材が少なくなってきた中での戦い方
- 戦力の集中
- あいさつ
- 眼科・耳鼻科など医師が少ない
- 新しい住民の考え方のギャップ
- 楽しむこと

第1回 10年後の松風台の住環境についてワークショップ

2018.12.9

グループ名 **4班**

メンバー

① 居住場所として松風台を選択した理由

子どもを育てるには良い環境のため選択	ザリガニもたくさん釣れる	通勤の利便性を考えて転居した。30年前
	・開発当初 ・子どもに恵まれたため転居	地利的な条件結婚

③ 地域の資源（景観、お祭り など）

カラスが多い ヘビ モグラ	たまにウグイス鳴いてます 通年カラスと顔合わせ	ウグイスや小鳥の鳴き声が聞ける	・自然が多い(鳥/花/他) ・犬の散歩コースが多い ・道路が広い	松風台に引っ越す人は香川・甘沼から移り住む人が多い	ユニディからみこし寄付	夏祭りはコミュニティのふれあいで盛り上がっている	防災会等の連携	通り抜けの車が少ない
カワセミが見れる	植物育てるのが好きな人多い	動植物豊か 良悪両面			夏祭りみこし担ぎ頑張ってます	自治会立派 地域の人材素晴らしい		買い物便利
					宗教色が少ない	子どもの参加が多くなった		バスみずき →1本/1h 駅 →2本/1h

② 松風台に住んでみた感想

静かな環境 子どもが多くて良かった	東海岸寒川線に面しているの、音と振動で目が覚める	犬を飼っている 住みやすい	最初はイメージは悪かった。 バスの利便性が悪い
遊ぶ所が多い。用水路・ゴルフ場に入れる。谷からの水、自然が多い		ファミリー層が増えてきた	帰ってくるとほっとする環境

④ 松風台で住み続けていく上で課題と感じていること

カラスのゴミ対策	獣害(カラス・モグラ)	高齢化に伴う様々な問題	第2世代の継承	広域避難所のスリーハンドレット こっち側から入れるところが川に面しているので道何とかならないかな
①犬のフンの処理、 ルーズな人が多い ②自治会活動への参加意欲が高い	ゴミを外の地域から捨てていく	2世代の若い方が続いて自治会加入してくれるか不安	買い物の不便さ、近くにスーパー欲しいな	
犬のフン 松風台の外から入ってくるケースが多い	ゴミの持ち去り	単身高齢者が心配		自治活動が大変
				自治会が1年で交代

